

令和7年6月30日
ぐんまみらい信用組合

第23回 経営諮問会議の概要について

当信用組合は、理事会の諮問機関として、外部有識者から構成される「経営諮問会議」を設置しております。本会議は、外部有識者より経営全般について助言・提言をいただき、これを経営に反映させることにより、経営の客観性・透明性を確保し、コーポレート・ガバナンスを強化することを目的としております。

過日、「第23回経営諮問会議」を開催いたしましたので、その概要につきまして、下記のとおりご報告させていただきます。

なお、第24回会議は、令和6年度決算状況を踏まえて令和7年8月頃に開催する予定にしております。

1. 日 時

令和7年3月4日(火) 午前10時30分～午後0時15分

2. 場 所

ホテルサンダーソン 2階 会議室

3. 出席者

(経営諮問委員) <五十音順、敬称略>

石綿 和夫	(高崎商工会議所 専務理事)
大久保 聡	(公益財団法人 群馬県産業支援機構 理事長)
小林 優公	(弁護士)
樋口 努	(群馬県商工会連合会 専務理事)
矢野 修一	(公立大学法人 高崎経済大学 経済学部教授)

(ぐんまみらい信用組合)

八高 武	(理事長)
多胡 忠浩	(常務理事)
宮澤 環	(常勤理事)
高坂 学	(常勤理事)
影山 靖展	(顧問)
高橋 茂信	(常勤監事)

4. 八高理事長挨拶（要旨）

皆さん、こんにちは。本日はご多用の中、経営諮問会議にご出席を賜り誠に有難うございます。平素は当組合の業務運営に対してご支援・ご協力を賜り重ねて御礼申し上げます。

昨日、2027年のNHK大河ドラマが倉瀬ゆかりの幕臣「小栗忠順」に決定されたと発表されました。これから、地元の活性化が大いに期待されると思います。

さて、令和6年を振り返りますと、国内外の政治・経済・外交等、出口の见えない厳しい環境が続いております。また、日本銀行が17年振りの利上げに踏み切り、「金利のある世界」が再来するなど、金融業界にとっても大きな節目の1年となりました。当組合の第5期3カ年経営強化計画1年目も残すところ1ヶ月を切り、今期は収益確保に向け3本柱である「ア．営業力の強化 イ．事業者支援 ウ．不良資産の発生防止と管理」に取り組んでおります。

店舗政策では本店の移転候補地の遅れから、県南部構想では母店である藤岡支店を令和6年4月にオープンいたしました。高崎北構想は、令和7年5月7日に4店舗を高崎北センターに集約し、オープンに向け新築着工しております。

健全な業務運営を遂行すべくコンプライアンスの徹底と、最近の「マネロン・金融犯罪」は、計画的かつ巧妙犯罪が増加しており、規定等の整備の取組みと計画書の進捗状況の検証、改善に向けて具体的なスケジュールを策定し、役職員への周知を図り実施しております。一方、取引先の課題が多様化・高度化していく中、引き続き、資金繰り支援・経営改善支援や事業再構築支援・事業承継・人手不足問題などには、外部機関と連携したサポートと経済環境や金融市場動向に注視し、取引先へ寄り添い取組みしております。

これからも、金融動向や環境構造の変化には危機感・スピード感・順応性を忘れずに取組み、合わせて、取引先訪問頻度を増やし経営者との面談・コミュニケーションに努め、緊張感を持って金融経営に取り組んで行きますので、諮問委員の皆様には、引き続き当組合の運営に対して、ご助言・ご提案を頂ければと考えております。

本日は宜しくお願い致します。

5. 当組合からの説明要旨

当組合より以下の内容について説明いたしました。

- ① 令和6年9月末仮決算の状況について
- ② 第5期経営強化計画の進捗状況について
- ③ 第22回経営諮問会議のご意見・ご提言の取組状況について

6. 意見交換

出席者から以下のご意見、ご提言を頂きました。

- ・雑誌で全国の信用組合の財務指標等を参考に『金利上昇「業績浮上力」ランキング』という記事があった。また、金融庁は中小金融機関の経営健全性を把握するためにモニタリング業務でAIを活用するという新聞記事もあり、今後、評価の対象になる指標が重要になってくると思う。
- ・貸金庫窃盗問題がニュースになっている。金融機関として役職員のコンプライアンス意識を高める工夫をしていただきたい。
- ・子育て支援で令和7年4月から育児・介護休業法の改正が行われます。それに対応した規則

規定の変更も必要になると思う。

- ・初任給引上げ、賃上げ機運や転職市場の拡大等で採用環境は大きく変化している。仕事のやりがい、職員のモチベーション向上等の方策を模索したり工夫を用いて採用を実施していく必要があると思う。また、新たな手段としてSNSを活用し、スピード感、パーソナライズされた情報発信するのも重要ではないかと思う。
- ・コロナ後の廃業問題が増加している。活かすべき事業、社会的に価値ある事業があれば、緻密な支援をしていただきたい。また、従業員の雇用確保もあるので、事業承継で事業を継続できるように支援していただきたいと思う。
- ・高齢者の預金保護について、特殊詐欺の対策を行っていると思いますが、親族間で高齢者の預金を取り合う問題が生じています。高額払戻については、親族であっても慎重に対応すべきである。また、生前委任契約（介護施設の入所問題、あるいは医療機関の入所契約等をサポートする契約）が流行っているようですが、行政上のいわゆる許認可というのが全くない状況であり、誰でも行える状況である。そのため、高齢者の本人以外が窓口で払戻に来られた際の対応方法を検討する必要があると思う。
- ・サイバーセキュリティでは、初動対応が重要である。日頃の取り組み、教育がいざという時の初動対応に影響すると思う。

以 上